

Chilled & Frozen  
Logistics Holdings  
Co., Ltd.



C&F LOGISTICS

第 5 期 年次報告書

2019年 4 月 1 日 ▶ 2020年 3 月 31 日

株式会社C&Fロジホールディングス

証券コード：9099

## 需給の急激な変化 に対応するグループ力



代表取締役社長  
林原 国雄

代表取締役副社長  
綾 宏將

## Q 食品物流業界を取り巻く環境と 当期の業績について教えてください

当連結会計年度における日本経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復傾向にあったものの、世界経済の減速の影響や、消費税増税による消費者マインドの冷え込みにより、景気指数は低迷する状況で推移してまいりました。更に年明け以降は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、景気の先行きは極めて不透明な状況となってまいりました。

当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、ライフスタイルの変化を背景として、冷凍・冷蔵食品の需要は引き続き堅調に推移しております。しかしながら、慢性的な人手不足に加え物流施設の不足感が一段と増す中、「食の安心と安全」を担保する高品質な物流サービスを維持するためのコストは引き続き増加しており、当社を取り巻く環境はより一層厳しくなっております。

このような環境の中、当社グループは2019年度からの3年間を対象とする第二次中期経営計画を策定し、「新たなインフラ整備と営業開発の推進」を基本方針として、当社グループにおけるTC事業、DC事業それぞれに新たなインフラ整備を進めてまいります。現在建設中の新センターにつきましては、2020年7月以降に順次竣工を予定しており、それらの稼働による固定費の負担増加を想定しております。その対策といたしまして、自社車両による配送比率の引き上げをはじめとしたコスト構造の見直しや適正な料金收受の推進、従業員の定着率向上に向けた働きやすい職場環境づくりなどに取り組み、相応の進捗を実現してまいりました。ただし、本年2月以降は、新型コロナウイルス感染防止への対策として、政府から外出自粛の要請が出されたことにより、外食を中心とした業務用食品の荷動きが鈍化し、一方、家庭用の食品需要が急増するなど、外食から中食・内食へのシフトが劇的に進みました。社会的なインフラでもある食品のサプライチェーンの一翼を担う当社グループは、このような需給の急激な変化に対し、グループ力を結集し対処してまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、営業収益は1,106億7千6百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は48億5千6百万円（前年同期比18.8%増）、経常利益は50億2千9百万円（前年同期比16.9%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、34億3千2百万円（前年同期比23.3%増）となりました。

## Q 今後の見通しについて教えてください

当社グループは、2019年4月より第二次中期経営計画（2019年度～2021年度）をスタートいたしました。当社グループが目指す『グローバルに変化する食品物流を担う低温を核とする総合物流情報企業の実現』に向けて、TC事業、DC事業の新たなインフラ整備を進め、それらのインフラを100%活用した営業開発を推進し、各々の得意分野を一体化した顧客サービスや物流品質の更なる向上を目指します。

基本戦略として、「インフラ整備による既存業務の効率化及び新規業務の獲得」、「顧客のニーズを先取りした提案型営業による収益拡大」、「新技術導入による業務効率化及び安定化」、「人材確保と活用」、「新たな成長ステージの確立」を確実に実行してまいります。

今後の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大が一旦は終息に向かいましたが第2波、第3波の襲来の可能性もあり、先行きは非常に不透明な状況にあります。このような状況の中、2020年5月末現在の2021年3月期の連結業績見通しは、算出するための情報が不十分であり、現段階において合理的に算定することが困難なことから未定とさせていただきます。連結業績見通しの開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## Q 配当の考え方について教えてください

当社グループは、株主の皆さまに対する利益還元策を経営の重要課題の一つとして認識し、1株当たりの年間配当金額22円00銭とした安定配当を基本とし、各期における中期経営計画の達成等を勘案したうえで配当金額の上乗せを検討してまいります。

当期の配当につきましては、1株当たり22円00銭（中間配当11円00銭、期末配当11円00銭）となりました。

また、次期の年間配当予想につきましては、2020年5月末現在のところ未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で公表いたします。

連結業績ハイライト

事業内容

業績概要

営業収益の推移

セグメント利益の推移



365日24時間体制で、主にチルド食品を中心とした低温食品のセンター業務及び輸配送を行う事業で、全国の各要衝に展開する流通型冷蔵倉庫において、食品メーカー等から受託したチルド食品や飲料等の共同配送業務、コンビニエンスストアや量販店・共同仕入機構・生活協同組合等の配送センター業務ならびに店舗配送を行っております。



新センターのフル稼働及び適正料金の收受等により、営業収益は72,708百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

セグメント利益につきましては、労働力確保に伴う労務コストの増加等はあったものの、自社車両による配送比率の引き上げなどによる外注費の削減及び配送の効率化により、4,591百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

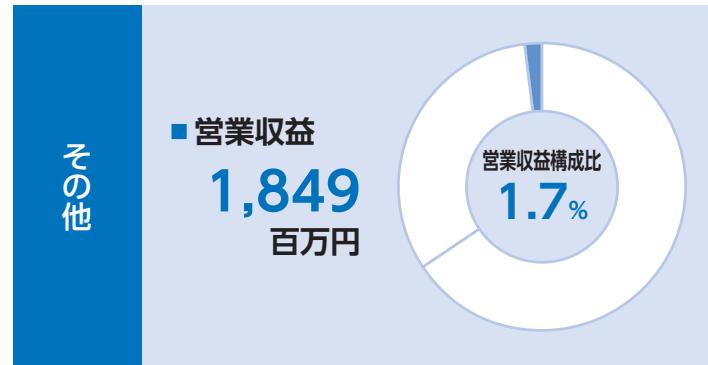
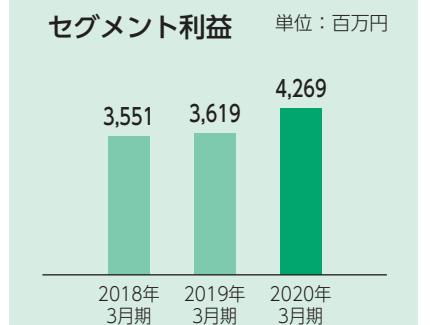


主に低温食品の保管・荷役及び輸配送を一体的に行う事業で、全国の各要衝に展開する流通型冷凍・冷蔵倉庫において、低温食品の共同保管・荷役及び輸入冷凍食品の保税業務を行い、併せて共同配送の機能を活かし、納品先へ24時間以内でお届けするコールドチェーン物流を構築しております。



既存店所における共同配送等の取扱物量の増加及び適正料金の收受等により、営業収益は36,118百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

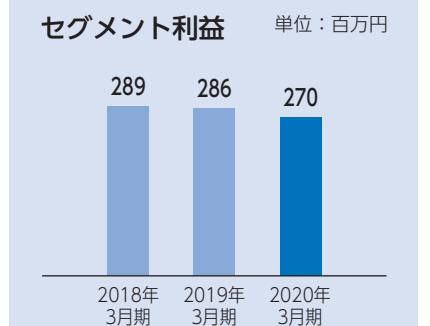
セグメント利益につきましては、取扱物量の増加や労務コンプライアンスの推進に伴う外注費及び労務費の増加はあったものの、倉庫荷役の適切な管理による効率化が進んだことにより4,269百万円（前年同期比18.0%増）となりました。



警備業法に基づく、首都圏の金融機関で取り扱う現金・貴重品・手形等の重要書類の配送、病院向けリネン類の集荷配送、在宅介護用品の宅配、物流事業者向けの乗務員・倉庫オペレーター・事務員等の人材派遣、当社グループならびに取引先の保険代理店業務等を行っております。



警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等により営業収益は1,849百万円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は270百万円（前年同期比5.7%減）となりました。

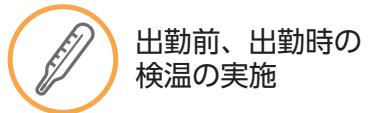


## 当社グループの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応

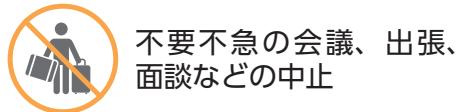
当社グループは「暮らしに必要な食品等の物流を提供する企業」として生産から消費者まで途切れることなく、日々のライフラインの維持に努めております。緊急事態宣言発令下においても、増加する物量や感染リスクを抱え、当社グループで働く従業員一人ひとりが安心して働ける環境を保ち、お客様に商品をお届けしてまいりました。

### 新型コロナウイルス対策本部を立ち上げ

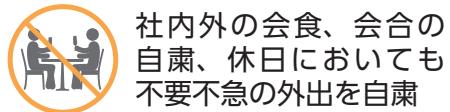
(2020年2月)



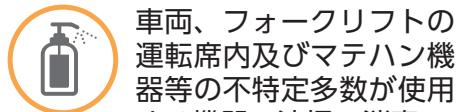
出勤前、出勤時の検温の実施



不要不急の会議、出張、面談などの中止



社内外の会食、会合の自粛、休日においても不要不急の外出を自粛



車両、フォークリフトの運転席内及びマテハン機器等の不特定多数が使用する機器の清掃、消毒

等

### 各拠点における感染防止対策

- 事務所エントランス開放
- 受付（社会的距離の確保）



- 飛沫防止カーテン設置
- ハンドドライヤー使用禁止



- 日々の消毒
- Web会議



### 庫内作業及び配送作業

365日24時間、ライフラインの維持のため各地で作業をしております。

- 入庫検品
- 受注
- 仕分け



- 積み込み

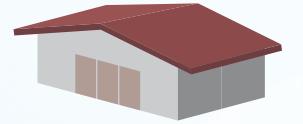


- 配送
- 納品

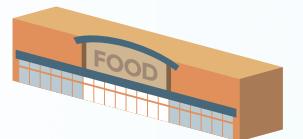


### 従業員への支援策

- 小学校等の施設が臨時休業した際に、保護者として子供の世話をすることが必要となった従業員に対し、特別休暇の付与
- 全従業員に特別感謝金の支給

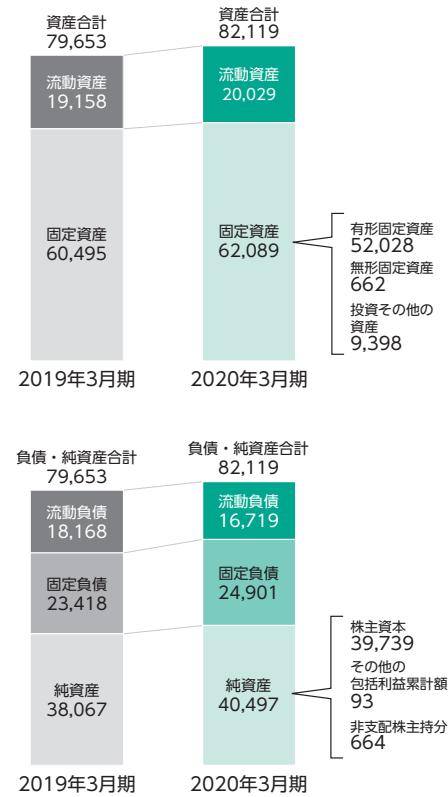


問屋  
コンビニエンスストア  
量販店  
共同仕入機構  
病院 等



連結貸借対照表

(単位:百万円)



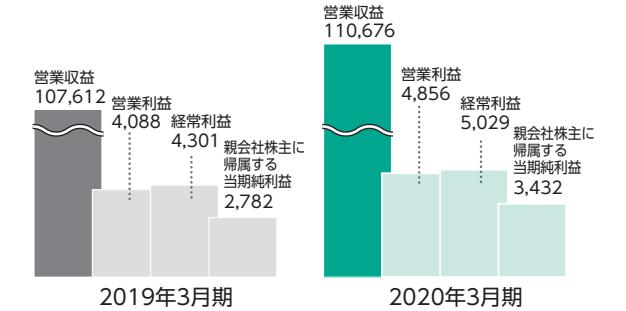
- 1 固定資産**  
・主に名糖運輸西東京物流センターの底地購入による増加
- 2 流動負債**  
・営業キャッシュフローの増加に伴い、短期借入金を返済したことによる減少

科目	2019年3月期		2020年3月期	
	2019年3月31日現在		2020年3月31日現在	
<b>資産の部</b>				
流動資産		19,158		20,029
固定資産		60,495	1	62,089
資産合計		79,653		82,119
<b>負債の部</b>				
流動負債		18,168	2	16,719
固定負債		23,418		24,901
負債合計		41,586		41,621
<b>純資産の部</b>				
株主資本		36,957		39,739
その他の包括利益累計額		386		93
非支配株主持分		722		664
純資産合計		38,067		40,497
負債・純資産合計		79,653		82,119

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2019年3月期		2020年3月期	
	2018年4月1日から2019年3月31日まで		2019年4月1日から2020年3月31日まで	
営業収益		107,612	3	110,676
営業原価		99,439		101,696
営業総利益		8,172		8,979
販売費及び一般管理費		4,084		4,122
営業利益		4,088	4	4,856
営業外収益		617		516
営業外費用		403		344
経常利益		4,301		5,029
特別利益		87		50
特別損失		82		8
税金等調整前当期純利益		4,306		5,071
法人税、住民税及び事業税		1,604		1,953
法人税等調整額		△86		△330
当期純利益		2,788		3,448
非支配株主に帰属する当期純利益		5		15
親会社株主に帰属する当期純利益		2,782		3,432

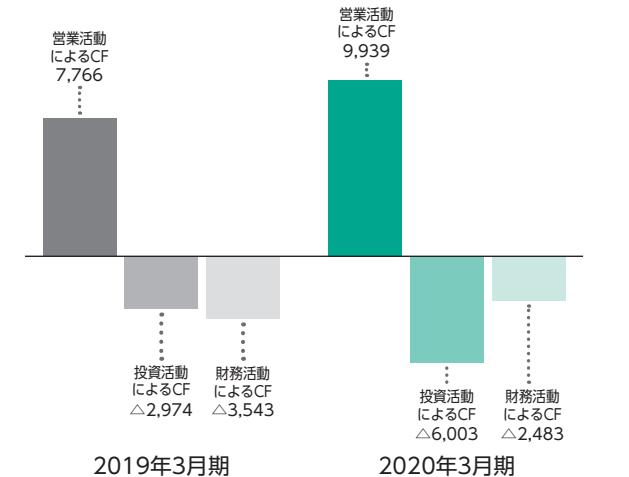


- 3 営業収益**  
・チルド・フローズンともに国内需要が伸び、取扱物量増加及び適正料金収受により増収
- 4 営業利益**  
・労務コストなどの増加はあったものの、動力費の削減及び燃料費の減少などにより営業原価の増加を今期の増収の範囲内にとどめ増益

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2019年3月期		2020年3月期	
	2018年4月1日から2019年3月31日まで		2019年4月1日から2020年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー		7,766	5	9,939
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,974	6	△6,003
財務活動によるキャッシュ・フロー		△3,543	7	△2,483



- 5 営業活動によるCF**  
・主に、「税金等調整前当期純利益」及び「減価償却費」等の増加による資金の収入
- 6 投資活動によるCF**  
・主に、「有形固定資産の取得による支出」の増加による資金の支出
- 7 財務活動によるCF**  
・主に、「長期借入れによる収入」の増加による資金の収入

会社概要 (2020年3月31日現在)

会社名 株式会社C&Fロジホールディングス  
 (英文社名) Chilled & Frozen Logistics Holdings Co., Ltd.

設立年月日 2015年10月1日

本店所在地 〒162-0056  
 東京都新宿区若松町33番8号  
 Tel. 03-5291-8100 (代表)

事業の内容 貨物運送事業、倉庫事業等を行う傘下子会社及び  
 グループの経営管理ならびにこれに関連する事業

資本金 4,000百万円

従業員数 163人 (単体) 5,150人 (連結)  
 (社員・契約社員等 グループ合計 11,676人 (連結))

役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	林原 国雄
代表取締役副社長	綾 宏将
取締役相談役	松田 鞆夫
専務取締役	武藤 彰宏
常務取締役	道田 和宏
常務取締役	酒光 修史
取締役	坂内 茂昭
社外取締役	小澤 涉
社外取締役	水谷 彰宏
社外取締役 (常勤監査等委員)	杉田 健一
社外取締役 (監査等委員)	高木 伸行
社外取締役 (監査等委員)	舘 充保
社外取締役 (監査等委員)	鳥羽 史郎

株主優待

毎年3月31日(基準日)現在の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有していただいている株主様を対象といたします。

内容	100株以上 ~ 500株未満	豆菓子 (あとひき豆ピーナッツ)
	500株以上 ~ 1,000株未満	新潟県魚沼産コシヒカリ (新米) 3kg
	1,000株以上	新潟県魚沼産コシヒカリ (新米) 5kg



贈呈時期は、新米の収穫時期に合わせて全ての対象株主様に対して毎年10月中旬の発送を予定しております。

株主の状況

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,690,766株
1単元の株式数	100株
総株主数	8,739人

大株主の状況 (2020年3月31日現在)

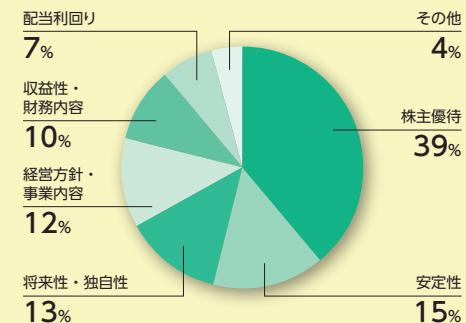
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
マルハニチロ株式会社	2,018	7.92
協同乳業株式会社	1,491	5.86
農林中央金庫	1,243	4.88
共栄火災海上保険株式会社	1,231	4.83
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	1,079	4.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,010	3.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	982	3.86
C&Fロジホールディングス従業員持株会	870	3.42
C&Fロジホールディングス取引先持株会	802	3.15
J A三井リース株式会社	746	2.93

(注) 1. 持株比率は自己株式 (233,591株) を控除して計算しております。  
 2. 持株数は千株未満、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

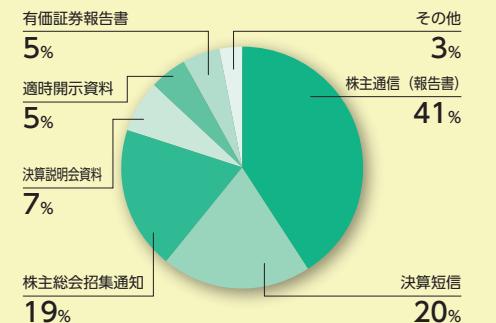
第5期中間報告書アンケートのご協力ありがとうございました。

第5期中間報告書にて実施いたしましたアンケートの結果について一部ご紹介いたします。  
 当社は今後も定期的にアンケートを実施し、得られた情報は貴重なご意見として経営へ反映してまいります。

Q. あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか?



Q. 当社に関する情報でよくご覧になるのは何ですか?



# 株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
議決権の基準日	毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	毎年3月31日及び9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	☎0120-782-031（受付時間 土・日・祝日を除く9時～17時）
公告方法	電子公告（ <a href="http://www.cflogi.co.jp">http://www.cflogi.co.jp</a> ） ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

## ホームページのご案内

当社の情報は、下記ホームページでご案内しております。  
是非ご覧ください。

<http://www.cflogi.co.jp>



株式会社C&Fロジホールディングス

